

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	5年間（2014年3月19日～2019年3月18日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。）
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、米国企業の株式等（※）の中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり利益の獲得による信託財産の成長をめざします。 ※不動産投資信託証券を含みます。</p> <p>②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。</p> <p>イ. 自社株買いを実施または発表している米国企業の株式等の中から、時価総額、流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。</p> <p>ロ. 投資対象銘柄に対し、次の観点で検証・分析を行ない、組入候補銘柄を選定します。</p> <p> i. 自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容等による資本配分戦略</p> <p> ii. 業績動向、経営方針および株価バリュエーション等</p> <p>ハ. 組入候補銘柄から、業種や銘柄の分散等を考慮してポートフォリオを構築します。</p> <p>③株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p> <p>※ベビーファンド「為替ヘッジあり」においては、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。</p>	
	組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

ダイワ米国 バイバック・ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版) 第3期

(決算日 2015年9月18日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジあり/為替ヘッジなし）」は、このたび、第3期の決算を行ないました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/> <5624>

<5625>

ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジあり）

★ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジあり）

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		株式 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末(2014年 9月18日)	10.086	100	1.9	10,691	6.9	97.9	—	5,273
2 期末(2015年 3月18日)	10.398	150	4.6	11,079	3.6	94.0	—	4,599
3 期末(2015年 9月18日)	9,554	0	△ 8.1	10,630	△ 4.1	97.0	0.7	3,034

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

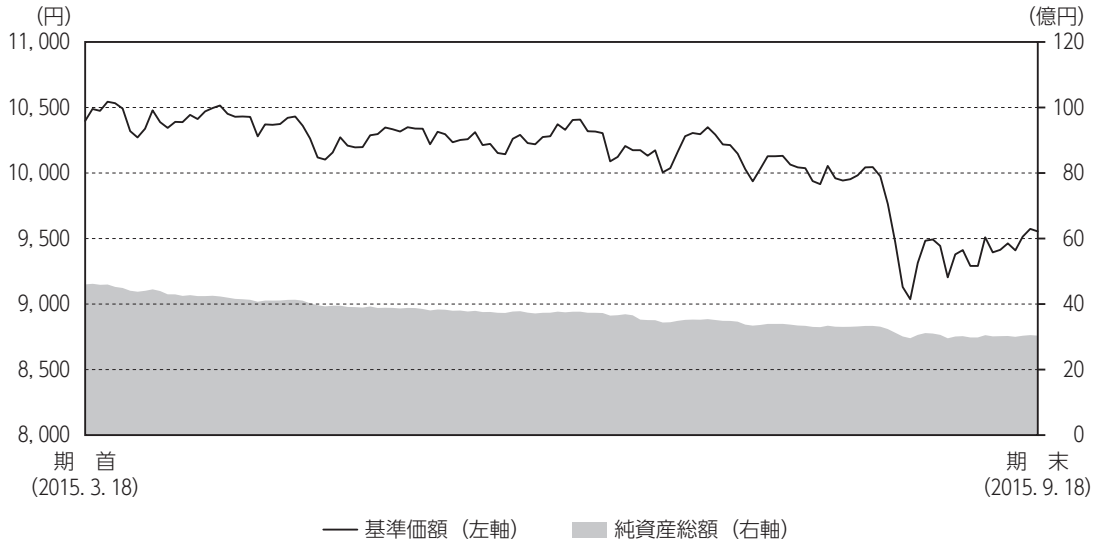
(注 2) 参考指数は、S & P 500種株価指数（米ドルベース）をもとに、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：10,398円

期末：9,554円

騰落率：△8.1%

■ 基準価額の主な変動要因

米国の株式に投資した結果、米国株の下落がマイナス要因となり、基準価額は値下がりしました。また為替ヘッジを行なった結果、為替変動による基準価額への影響は限定的でした。

ダイワ米国バイバック・ファンド (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (米ドルベース)		株 式 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2015年 3月18日	10,398	—	11,079	—	94.0	—
3月末	10,479	0.8	11,143	0.6	96.0	—
4月末	10,263	△ 1.3	11,253	1.6	97.2	—
5月末	10,296	△ 1.0	11,327	2.2	98.4	—
6月末	10,089	△ 3.0	10,990	△ 0.8	94.6	1.4
7月末	10,128	△ 2.6	11,263	1.7	96.4	1.4
8月末	9,493	△ 8.7	10,623	△ 4.1	97.9	—
(期末)2015年 9月18日	9,554	△ 8.1	10,630	△ 4.1	97.0	0.7

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、米国の早期利上げ観測と米ドル高による米国企業業績に対する警戒感などから、下落してのスタートとなりました。しかし、2015年4月には早期利上げ観測の後退や企業買収および事業再編などが好感され上昇基調に転じました。6月に入るとギリシャの債務問題の行方をめぐり値動きの荒い展開となり、7月上旬にかけてはギリシャのデフォルト（債務不履行）リスクが高まったことから大きく下落しました。その後は、ギリシャ問題がひとまず落ち着いたことや好調な企業決算などから急速に値を戻しましたが、再度利上げに対する警戒感が高まる中、8月に中国が人民元の切下げを発表したことや中国株が急落したことなどを受けてリスク回避の動きが高まり、大きく下落して期末を迎えました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

今後も、主として、ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券を通じて、米国企業の株式等の中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

○ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容等の観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーション等の分析を行なうことにより魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場は、F R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げ観測に対する警戒感などから、短期的には上値の重い動きが想定されますが、着実な景気回復の足どりが確認されれば、中長期的には上昇基調に回帰するとみています。

ポートフォリオについて

○当ファンド

主として、ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券を通じて、米国企業の株式等の中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないました。

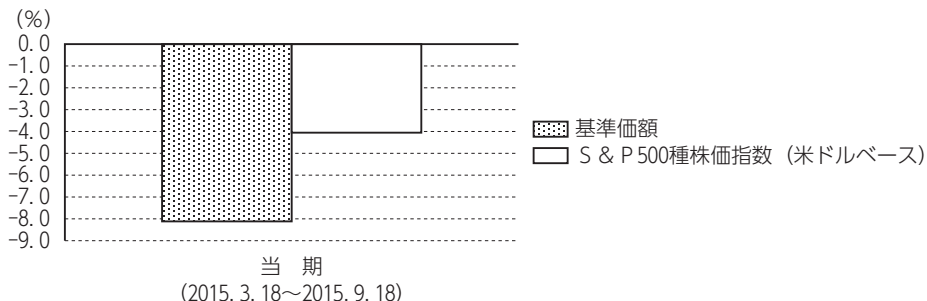
○ダイワ米国バイバック・マザーファンド

ポートフォリオは、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。セクター別では、雇用・所得環境の改善やガソリン安、住宅市場の回復などが支援材料となる一般消費財セクターを高位組入れとしました。個別銘柄では、自社株買い動向や業績見通し、株価バリュエーション等を総合的に勘案して、APPLE（情報技術）、HOME DEPOT（一般消費財・サービス）、IBM（情報技術）、EXPRESS SCRIPTS（ヘルスケア）、LOWE'S（一般消費財・サービス）などを上位組入れとしました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期は、基準価額の水準および経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年3月19日 ～2015年9月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	402

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

今後も、主として、ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券を通じて、米国企業の株式等の中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

○ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容等の観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーション等の分析を行なうことにより魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場は、FRBの利上げ時期をめぐる不透明感などから引続き上値の重い動きが想定されますが、金融市場が安定化し、FRBの金融政策方針が今後明らかになれば、中長期的には上昇基調に回帰するとみています。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 3. 19～2015. 9. 18)		
	金 額	比 率	
信託報酬	91円	0.896%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,112円です。
（投信会社）	(44)	(0.434)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(44)	(0.434)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	20	0.198	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(20)	(0.194)	
（投資信託証券）	(0)	(0.005)	
有価証券取引税	0	0.003	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.003)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
その他費用	1	0.013	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.010)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	112	1.110	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2015年3月19日から2015年9月18日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	117,889	130,500	1,125,416	1,421,700

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2015年3月19日から2015年9月18日まで）

項 目	当 期
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	61,067,868千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	19,680,952千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.10

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首			当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円	千口	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	3,587,001	2,579,474	3,015,405			

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年9月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	3,015,405	97.7
コール・ローン等、その他	70,864	2.3
投資信託財産総額	3,086,270	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝119.82円です。

（注3）ダイワ米国バイバック・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（16,192,273千円）の投資信託財産総額（16,384,332千円）に対する比率は、98.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年9月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	6,091,842,699円
コール・ローン等	50,735,512
ダイワ米国バイバック・マザーファンド（評価額）	3,015,405,722
未収入金	3,025,701,465
(B) 負債	3,057,248,111
未払金	3,013,413,200
未払解約金	10,488,241
未払信託報酬	33,246,022
その他未払費用	100,648
(C) 純資産総額（A－B）	3,034,594,588
元本	3,176,346,123
次期繰越損益金	△ 141,751,535
(D) 受益権総口数	3,176,346,123口
1万口当り基準価額（C/D）	9,554円

* 期首における元本額は4,423,190,236円、当期中における追加設定元本額は38,628,393円、同解約元本額は1,285,472,506円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は9,554円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は141,751,535円です。

ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジあり）

■損益の状況

当期 自2015年3月19日 至2015年9月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	18,111円
受取利息	18,111
(B) 有価証券売買損益	△ 232,338,333
売買益	224,275,408
売買損	△ 456,613,741
(C) 信託報酬等	△ 33,357,470
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 265,677,692
(E) 前期繰越損益金	125,624,466
(F) 追加信託差損益金	△ 1,698,309
(配当等相当額)	(2,267,471)
(売買損益相当額)	(△ 3,965,780)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 141,751,535
次期繰越損益金 (G)	△ 141,751,535
追加信託差損益金	△ 1,698,309
(配当等相当額)	(2,267,471)
(売買損益相当額)	(△ 3,965,780)
分配準備積立金	125,624,466
繰越損益金	△ 265,677,692

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	2,267,471
(d) 分配準備積立金	125,624,466
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	127,891,937
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	127,891,937
(h) 受益権総口数	3,176,346,123口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年3月18日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えくださいますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）は10,068円です。」

★ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジなし）

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500種株価指数 (円換算)		株式 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
1 期末 (2014年 9月18日)	10,535	250	7.9	11,436	14.4	96.5	—	30,395
2 期末 (2015年 3月18日)	11,569	700	16.5	13,253	15.9	94.0	—	20,037
3 期末 (2015年 9月18日)	10,469	0	△ 9.5	12,557	△ 5.2	97.6	0.7	13,192

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

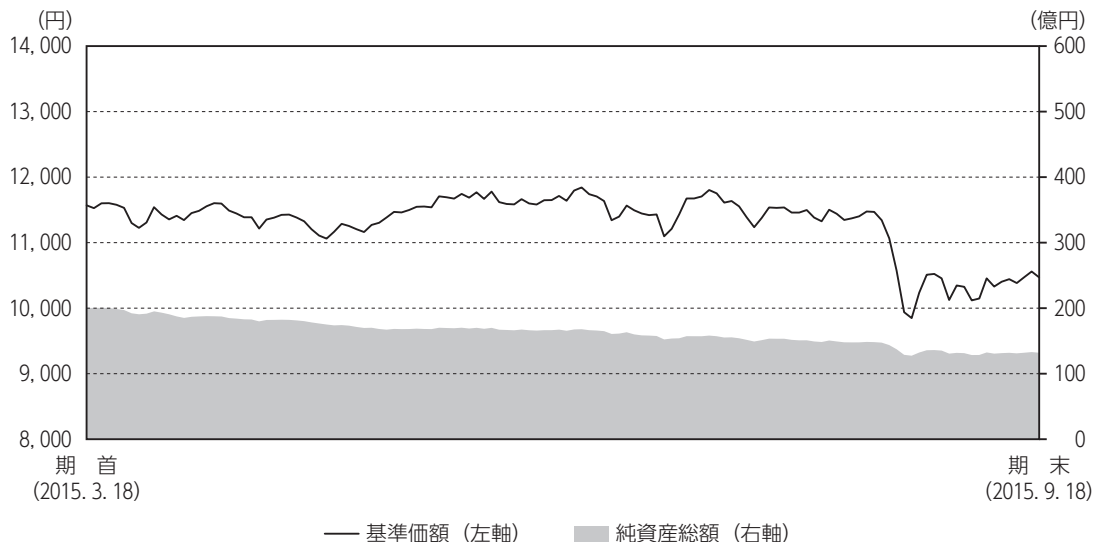
(注2) S & P 500種株価指数（円換算）は、S & P 500種株価指数（米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

《運用経過》

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：11,569円

期末：10,469円

騰落率：△9.5%

■ 基準価額の主な変動要因

米国の株式に投資した結果、米国株の下落および為替が米ドル安円高となったことがマイナス要因となり、基準価額は値下がりしました。

ダイワ米国バイバック・ファンド (為替ヘッジなし)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500種株価指数 (円換算)		株 式 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2015年 3月18日	11,569	—	13,253	—	94.0	—
3月末	11,542	△ 0.2	13,202	△ 0.4	96.4	—
4月末	11,204	△ 3.2	13,202	△ 0.4	97.7	—
5月末	11,692	1.1	13,818	4.3	97.9	—
6月末	11,342	△ 2.0	13,268	0.1	96.3	1.4
7月末	11,531	△ 0.3	13,773	3.9	96.6	1.4
8月末	10,522	△ 9.1	12,691	△ 4.2	97.9	—
(期末)2015年 9月18日	10,469	△ 9.5	12,557	△ 5.2	97.6	0.7

(注) 騰落率は期首比。

投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、米国の早期利上げ観測と米ドル高による米国企業業績に対する警戒感などから、下落してのスタートとなりました。しかし、2015年4月には早期利上げ観測の後退や企業買収および事業再編などが好感され上昇基調に転じました。6月に入るとギリシャの債務問題の行方をめぐり値動きの荒い展開となり、7月上旬にかけてはギリシャのデフォルト（債務不履行）リスクが高まったことから大きく下落しました。その後は、ギリシャ問題がひとまず落ち着いたことや好調な企業決算などから急速に値を戻しましたが、再度利上げに対する警戒感が高まる中、8月に中国が人民元の切下げを発表したことや中国株が急落したことなどをを受けてリスク回避の動きが高まり、大きく下落して期末を迎えました。

○為替相場

米ドルは対円で横ばい推移でのスタートとなりました。2015年5月以降は、イエレンF R B（米国連邦準備制度理事会）議長の発言等をきっかけに利上げ観測が高まり、日米の金利差が拡大するとの思惑から米ドル高基調に転じました。その後は、世界的な株価急落でリスク回避の動きが強まったことなどから急速に米ドル安円高の展開となり、期末を迎えました。

前期における「今後の運用方針」

○当ファンド

今後も、主として、ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券を通じて、米国企業の株式等の中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

○ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容等の観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーション等の分析を行なうことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場は、F R Bの利上げ観測に対する警戒感などから、短期的には上値の重い動きが想定されますが、着実な景気回復の足どりが確認できれば、中長期的には上昇基調に回帰するとみています。

ポートフォリオについて

○当ファンド

主として、ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券を通じて、米国企業の株式等の中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。

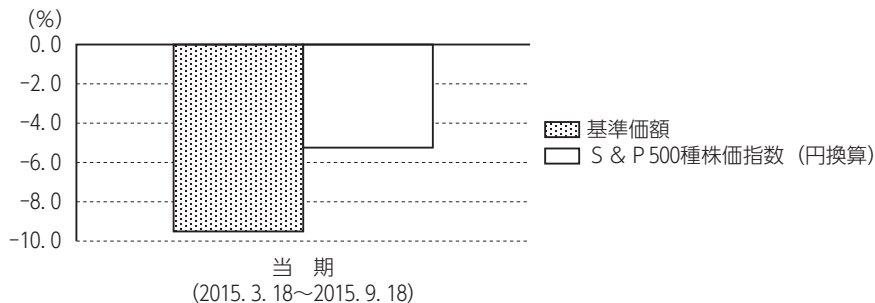
○ダイワ米国バイバック・マザーファンド

ポートフォリオは、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。セクター別では、雇用・所得環境の改善やガソリン安、住宅市場の回復などが支援材料となる一般消費財セクターを高位組入れとしました。個別銘柄では、自社株買い動向や業績見通し、株価バリュエーション等を総合的に勘案して、APPLE（情報技術）、HOME DEPOT（一般消費財・サービス）、IBM（情報技術）、EXPRESS SCRIPTS（ヘルスケア）、LOWE'S（一般消費財・サービス）などを上位組入れとしました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2015年3月19日	～2015年9月18日
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	1,562

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

《今後の運用方針》

○当ファンド

今後も、主として、ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券を通じて、米国企業の株式等の中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

○ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容等の観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーション等の分析を行なうことにより魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場は、F R Bの利上げ時期をめぐる不透明感などから引続き上値の重い動きが想定されますが、金融市場が安定化し、F R Bの金融政策方針が今後明らかになれば、中長期的には上昇基調に回帰するとみています。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2015. 3. 19～2015. 9. 18)		
	金 額	比 率	
信託報酬	101円	0.896%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,299円です。
（投信会社）	(49)	(0.434)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(49)	(0.434)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(3)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	22	0.199	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(22)	(0.194)	
（投資信託証券）	(1)	(0.005)	
有価証券取引税	0	0.003	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.003)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
その他費用	1	0.013	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	125	1.111	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

（注2）金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

（注3）比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジなし）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2015年3月19日から2015年9月18日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	284,274	359,000	4,629,541	5,811,100

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2015年3月19日から2015年9月18日まで）

項 目	当 期
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	61,067,868千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	19,680,952千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	3.10

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	期 首	□ 数	評 価 額
	□ 数	□ 数	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	15,622,617	11,277,350	13,183,223

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年9月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	13,183,223	98.6
コール・ローン等、その他	186,037	1.4
投資信託財産総額	13,369,260	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝119.82円です。

（注3）ダイワ米国バイバック・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（16,192,273千円）の投資信託財産総額（16,384,332千円）に対する比率は、98.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年9月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	13,369,260,873円
コール・ローン等	166,037,814
ダイワ米国バイバック・マザーファンド（評価額）	13,183,223,059
未収入金	20,000,000
(B) 負債	176,636,524
未払解約金	29,287,327
未払信託報酬	146,904,124
その他未払費用	445,073
(C) 純資産総額（A－B）	13,192,624,349
元本	12,601,165,797
次期繰越損益金	591,458,552
(D) 受益権総口数	12,601,165,797口
1万口当り基準価額（C/D）	10,469円

* 期首における元本額は17,320,045,997円、当期中における追加設定元本額は614,896,569円、同解約元本額は5,333,776,769円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,469円です。

■損益の状況

当期 自2015年3月19日 至2015年9月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	25,002円
受取利息	25,002
(B) 有価証券売買損益	△ 1,224,755,371
売買益	133,463,107
売買損	△ 1,358,218,478
(C) 信託報酬等	△ 147,349,197
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 1,372,079,566
(E) 前期繰越損益金	1,859,716,679
(F) 追加信託差損益金	103,821,439
(配当等相当額)	(109,803,861)
(売買損益相当額)	(△ 5,982,422)
(G) 合計 (D + E + F)	591,458,552
次期繰越損益金 (G)	591,458,552
追加信託差損益金	103,821,439
(配当等相当額)	(109,803,861)
(売買損益相当額)	(△ 5,982,422)
分配準備積立金	1,859,716,679
繰越損益金	△ 1,372,079,566

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	109,803,861
(d) 分配準備積立金	1,859,716,679
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,969,520,540
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,969,520,540
(h) 受益権総口数	12,601,165,797口

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《訂正のお知らせ》

作成対象期間の末日が2015年3月18日の交付運用報告書および運用報告書（全体版）につきまして、「1万口当りの費用の明細」の表の「項目の概要」における次の記載にて下線部が不要でした。お詫び申し上げますとともに、下線部を除いてお読み替えますようお願い申し上げます。

「期中の平均基準価額（月末値の平均値）は11,224円です。」

ダイワ米国バイバック・マザーファンド

運用報告書 第3期 (決算日 2015年9月18日)

(計算期間 2015年3月19日～2015年9月18日)

ダイワ米国バイバック・マザーファンドの第3期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。）
運用方法	<p>①主として、米国企業の株式等（※）の中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。 ※不動産投資信託証券を含みます。</p> <p>②ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行なうことを基本とします。 イ．自社株買いを実施または発表している米国企業の株式等の中から、時価総額、流動性等を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ．投資対象銘柄に対し、次の観点で検証・分析を行ない、組入候補銘柄を選定します。 i．自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容等による資本配分戦略 ii．業績動向、経営方針および株価バリュエーション等 ハ．組入候補銘柄から、業種や銘柄の分散等を考慮してポートフォリオを構築します。</p> <p>③株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。 ④為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	無制限

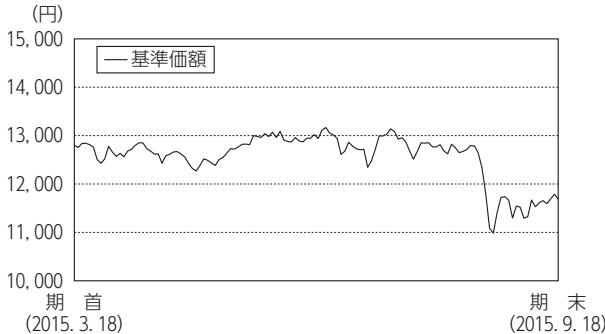
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年 月 日	基準 価 額		S & P 500種株価指数 (円換算)		株 式 組 入 比 率	投 資 信 託 組 入 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2015年 3月18日	12,802	—	13,253	—	94.2	—
3月末	12,780	△ 0.2	13,202	△ 0.4	96.5	—
4月末	12,424	△ 3.0	13,202	△ 0.4	97.7	—
5月末	12,983	1.4	13,818	4.3	97.8	—
6月末	12,614	△ 1.5	13,268	0.1	96.2	1.4
7月末	12,845	0.3	13,773	3.9	96.5	1.4
8月末	11,738	△ 8.3	12,691	△ 4.2	97.9	—
(期末) 2015年 9月18日	11,690	△ 8.7	12,557	△ 5.2	97.6	0.7

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) S & P 500種株価指数 (円換算) は、S & P 500種株価指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。S & P 500種株価指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に關し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
 (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,802円 期末：11,690円 騰落率：△8.7%

【基準価額の主な変動要因】

米国の株式に投資した結果、米国株の下落および為替が米ドル安円高となったことがマイナス要因となり、基準価額は値下がりしました。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は、米国の早期利上げ観測と米ドル高による米国企業業績に対する警戒感などから、下落してのスタートとなりました。しかし、2015年4月には早期利上げ観測の後退や企業買収および事業再編などが好感され上昇基調に転じました。6月に入るとギリシャの債務問題の行方をめぐり値動きの荒い展開となり、7月上旬にかけてはギリシャのデフォルト (債務不履行) リスクが高まったことから大きく下落しました。その後は、ギリシャ問題がひとまず落ち着いたことや好調な企業決算などから急速に値を戻しましたが、再度利上げに対する警戒感が高まる中、8月に中国が人民元の切下げを発表したことや中国株が急落したことを受けてリスク回避の動きが高まり、大きく下落して期末を迎えました。

○為替相場

米ドルは対円で横ばい推移でのスタートとなりました。2015年5月以降は、イエレンFRB (米連邦準備制度理事会) 議長の発言等をきっかけに利上げ観測が高まり、日米の金利差が拡大するとの思惑から米ドル高基調に転じました。その後は、世界的な株価急落でリスク回避の動きが強まったことなどから、急速に米ドル安円高の展開となり、期末を迎えました。

◆前期における「今後の運用方針」

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容等の観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーション等の分析を行なうことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場は、FRBの利上げ観測に対する警戒感などから、短期的には上値の重い動きが想定されますが、着実な景気回復の足どりが確認できれば、中長期的には上昇基調に回帰するとみています。

◆ポートフォリオについて

ポートフォリオは、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。セクター別では、雇用・所得環境の改善やガソリン安、住宅市場の回復などが支援材料となる一般消費財セクターを高位組入れとしました。個別銘柄では、自社株買い動向や業績見通し、株価バリュエーション等を総合的に勘案して、APPLE (情報技術)、HOME DEPOT (一般消費財・サービス)、IBM (情報技術)、EXPRESS SCRIPTS (ヘルスケア)、LOWE'S (一般消費財・サービス) などを上位組入れとしました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容等の観点から企業の資本配分戦略を検証するとともに、業績動向、経営方針、株価バリュエーション等の分析を行なうことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。米国株式市場は、FRBの利上げ時期をめぐると不透明感などから引続き上値の重い動きが想定されますが、金融市場が安定化し、FRBの金融政策方針が今後明らかになれば、中長期的には上昇基調に回帰するとみています。

ダイワ米国バイバック・マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式) (投資信託証券)	25円 (24) (1)
有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	0 (0) (0)
その他費用 (保管費用)	1 (1)
合 計	27

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出方法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2015年3月19日から2015年9月18日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	アメリカ	百株 44,417 (545)	千アメリカ・ドル 227,987 (—)	百株 44,442	千アメリカ・ドル 274,090

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2015年3月19日から2015年9月18日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	千口 206.5 (—)	千アメリカ・ドル 3,279 (—)	千口 156.5 (—)	千アメリカ・ドル 2,318 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2015年3月19日から2015年9月18日まで)

買 付	当 期			売 付	当 期			
	銘 柄	株 数	金 額		銘 柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円			千株	千円	円
	INTL BUSINESS MACHINES CORP (アメリカ)	63.5	1,308,632	20,608	ALLSTATE CORP (アメリカ)	171.5	1,424,821	8,307
	EXPRESS SCRIPTS HOLDING CO (アメリカ)	65.7	695,015	10,578	HOME DEPOT INC (アメリカ)	99.4	1,356,347	13,645
	FORTINET INC (アメリカ)	112	601,909	5,374	AMERISOURCEBERGEN CORP (アメリカ)	88.8	1,220,434	13,743
	MONSANTO CO (アメリカ)	42.5	597,531	14,059	SKYWORKS SOLUTIONS INC (アメリカ)	101.8	1,179,530	11,586
	GENERAL DYNAMICS CORP (アメリカ)	34.4	592,434	17,221	WALT DISNEY CO/THE (アメリカ)	86	1,143,985	13,302
	CIGNA CORP (アメリカ)	33.9	552,225	16,289	UNITEDHEALTH GROUP INC (アメリカ)	81	1,142,181	14,101
	DEERE & CO (アメリカ)	47	541,349	11,518	NORTHROP GRUMMAN CORP (アメリカ)	58.3	1,136,425	19,492
	FEDEX CORP (アメリカ)	24.5	520,252	21,234	WASTE MANAGEMENT INC (アメリカ)	175.7	1,095,246	6,233
	LOWE'S COS INC (アメリカ)	47.5	400,942	8,440	FIDELITY NATIONAL INFO SERV (アメリカ)	135	1,043,735	7,731
	HOME DEPOT INC (アメリカ)	28	391,354	13,976	LOWE'S COS INC (アメリカ)	120.3	1,028,827	8,552

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資信託証券

(2015年3月19日から2015年9月18日まで)

買 付	当 期			売 付	当 期			
	銘 柄	口 数	金 額		銘 柄	口 数	金 額	平均単価
		千口	千円			千口	千円	円
	AMERICAN CAPITAL AGENCY CORP (アメリカ)	125.6	288,407	2,296	AMERICAN CAPITAL AGENCY CORP (アメリカ)	75.6	176,190	2,330
	INVESCO MORTGAGE CAPITAL (アメリカ)	43.8	79,637	1,818	INVESCO MORTGAGE CAPITAL (アメリカ)	43.8	75,480	1,723
	JAVELIN MORTGAGE INVESTMENT (アメリカ)	30	26,650	888	JAVELIN MORTGAGE INVESTMENT (アメリカ)	30	25,560	852
	ANWORTH MORTGAGE ASSET CORP (アメリカ)	7.1	4,340	611	ANWORTH MORTGAGE ASSET CORP (アメリカ)	7.1	4,438	625

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国株式

銘柄	期首	当	期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円	
(アメリカ)					
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	1,350	—	—	—	情報技術
VALIDUS HOLDINGS LTD	—	130	584	70,047	金融
CF INDUSTRIES HOLDINGS INC	—	238	1,281	153,564	素材
WR BERKLEY CORP	—	20	109	13,163	金融
AUTOZONE INC	60	45	3,305	396,099	一般消費財・サービス
DUN & BRADSTREET CORP	—	19	202	24,238	資本財・サービス
HESS CORP	240	—	—	—	エネルギー
APPLE INC	836	639	7,279	872,228	情報技術
BOEING CO/THE	570	296	4,068	487,490	資本財・サービス
CINCINNATI FINANCIAL CORP	—	80	429	51,493	金融
LEIDOS HOLDINGS INC	—	91	394	47,278	情報技術
JPMORGAN CHASE & CO	—	66	413	49,544	金融
LEGG MASON INC	—	235	1,034	124,006	金融
CIGNA CORP	—	139	1,984	237,749	ヘルスケア
RENAISSANCERE HOLDINGS LTD	—	26	274	32,875	金融
AMERIPRISE FINANCIAL INC	—	119	1,303	156,159	金融
DOLLAR GENERAL CORP	—	97	692	82,973	一般消費財・サービス
HERBALIFE LTD	—	97	558	66,922	生活必需品
MOSAIC CO/THE	—	395	1,533	183,778	素材
CORNING INC	—	686	1,246	149,351	情報技術
CISCO SYSTEMS INC	—	150	388	46,514	情報技術
BRIGHT HORIZONS FAMILY SOLUT	—	192	1,243	149,029	一般消費財・サービス
SERVICE CORP INTERNATIONAL	—	143	415	49,740	一般消費財・サービス
LENNOX INTERNATIONAL INC	—	50	618	74,120	資本財・サービス
CREDIT ACCEPTANCE CORP	—	8	165	19,803	金融
JACK IN THE BOX INC	—	17	130	15,688	一般消費財・サービス
MANHATTAN ASSOCIATES INC	—	120	755	90,540	情報技術
SS&C TECHNOLOGIES HOLDINGS	—	125	883	105,875	情報技術
FCB FINANCIAL HOLDINGS-CL A	—	128	423	50,750	金融
ACUITY BRANDS INC	—	20	390	46,732	資本財・サービス
WHITEWAVE FOODS CO	—	110	513	61,511	生活必需品
COLUMBIA SPORTSWEAR CO	—	130	850	101,870	一般消費財・サービス
DEERE & CO	—	26	209	25,056	資本財・サービス
OUTERWALL INC	—	68	420	50,393	一般消費財・サービス
CROCS INC	—	336	496	59,543	一般消費財・サービス
CLEARWATER PAPER CORP	—	87	413	49,567	素材
GRIFFON CORP	—	251	411	49,352	資本財・サービス
STEINER LEISURE LTD	—	86	550	65,907	一般消費財・サービス
MYERS INDUSTRIES INC	—	305	420	50,395	素材
CAI INTERNATIONAL INC	—	366	429	51,484	資本財・サービス
HELEN OF TROY LTD	—	62	579	69,392	一般消費財・サービス
MEDIFAST INC	—	36	103	12,384	生活必需品
DILLARDS INC-CL A	—	29	267	32,072	一般消費財・サービス

ダイワ米国バイバック・マザーファンド

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
NEUSTAR INC-CLASS A	—	180	千アメリカ・ドル 514	千円 61,597	情報技術
POLYONE CORPORATION	—	69	218	26,191	素材
ASPEN INSURANCE HOLDINGS LTD	—	110	511	61,287	金融
POLYCOM INC	—	159	166	19,927	情報技術
ALAMO GROUP INC	—	90	425	50,942	資本財・サービス
POOL CORP	—	16	116	13,956	一般消費財・サービス
CHEESECAKE FACTORY INC/THE	—	14	75	9,055	一般消費財・サービス
WALKER & DUNLOP INC	—	188	446	53,477	金融
ACTUANT CORP-A	—	28	54	6,569	資本財・サービス
GLOBAL PAYMENTS INC	—	49	561	67,301	情報技術
TIME WARNER INC	670	235	1,650	197,807	一般消費財・サービス
EPLUS INC	—	5	38	4,573	情報技術
CRA INTERNATIONAL INC	—	66	151	18,093	資本財・サービス
WYNDHAM WORLDWIDE CORP	—	161	1,261	151,183	一般消費財・サービス
CNO FINANCIAL GROUP INC	—	381	704	84,455	金融
BOB EVANS FARMS	—	100	458	54,889	一般消費財・サービス
KAISER ALUMINUM CORP	—	5	42	5,082	素材
ELLIE MAE INC	—	50	368	44,201	情報技術
SCIENCE APPLICATIONS INTE	—	2	8	1,032	情報技術
EXPEDITORS INTL WASH INC	—	114	555	66,508	資本財・サービス
CSX CORP	350	—	—	—	資本財・サービス
EXPEDIA INC	—	38	489	58,658	一般消費財・サービス
EVEREST RE GROUP LTD	—	71	1,250	149,778	金融
AMERISOURCEBERGEN CORP	888	—	—	—	ヘルスケア
MACY'S INC	—	189	1,058	126,817	一般消費財・サービス
DISCOVERY COMMUNICATIONS-A	—	133	376	45,083	一般消費財・サービス
FORTINET INC	—	320	1,445	173,230	情報技術
FISERV INC	—	211	1,848	221,470	情報技術
GENERAL DYNAMICS CORP	—	212	3,001	359,588	資本財・サービス
GOLDMAN SACHS GROUP INC	—	12	223	26,808	金融
STARZ - A	—	56	225	27,047	一般消費財・サービス
GAMESTOP CORP-CLASS A	—	271	1,181	141,606	一般消費財・サービス
HALLIBURTON CO	270	—	—	—	エネルギー
HOME DEPOT INC	1,270	556	6,555	785,515	一般消費財・サービス
INTL BUSINESS MACHINES CORP	—	370	5,481	656,754	情報技術
PROASSURANCE CORP	—	4	19	2,379	金融
FORTUNE BRANDS HOME & SECURI	—	264	1,372	164,488	資本財・サービス
MARRIOTT VACATIONS WORLD	—	25	182	21,849	一般消費財・サービス
JUNIPER NETWORKS INC	—	508	1,311	157,101	情報技術
JETBLUE AIRWAYS CORP	—	230	621	74,463	資本財・サービス
KROGER CO	1,050	—	—	—	生活必需品
LOCKHEED MARTIN CORP	—	42	871	104,473	資本財・サービス
LOWE'S COS INC	1,370	642	4,524	542,163	一般消費財・サービス
LINCOLN NATIONAL CORP	—	45	221	26,598	金融
PHILLIPS 66	423	351	2,783	333,552	エネルギー
ROVI CORP	—	340	388	46,605	情報技術

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
MONSANTO CO	—	百株 77	千アメリカ・ドル 693	千円 83,127	素材
MASCO CORP	—	420	1,157	138,643	資本財・サービス
MARRIOTT INTERNATIONAL -CL A	217	78	562	67,440	一般消費財・サービス
NETAPP INC	—	136	438	52,487	情報技術
NIKE INC -CL B	—	45	518	62,152	一般消費財・サービス
NORTHROP GRUMMAN CORP	663	103	1,758	210,693	資本財・サービス
WESTERN UNION CO	—	326	615	73,747	情報技術
NEWELL RUBBERMAID INC	—	356	1,527	182,993	一般消費財・サービス
O'REILLY AUTOMOTIVE INC	83	100	2,506	300,364	一般消費財・サービス
NVR INC	—	15	2,381	285,321	一般消費財・サービス
PRUDENTIAL FINANCIAL INC	—	60	469	56,212	金融
CEVA INC	—	20	38	4,589	情報技術
SCRIPPS NETWORKS INTER-CL A	—	67	354	42,491	一般消費財・サービス
AUTONATION INC	—	202	1,235	148,005	一般消費財・サービス
TRAVELERS COS INC/THE	—	229	2,328	278,942	金融
SOUTHWEST AIRLINES CO	—	250	987	118,292	資本財・サービス
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	140	24	607	72,803	素材
TIMKEN CO	—	160	478	57,302	資本財・サービス
TESORO CORP	—	103	966	115,861	エネルギー
MARATHON PETROLEUM CORP	220	430	2,013	241,280	エネルギー
UNITEDHEALTH GROUP INC	810	—	—	—	ヘルスケア
VERISIGN INC	—	20	140	16,892	情報技術
ANTHEM INC	—	188	2,825	338,500	ヘルスケア
WALT DISNEY CO/THE	860	—	—	—	一般消費財・サービス
WELLS FARGO & CO	—	45	234	28,151	金融
WASTE MANAGEMENT INC	1,757	—	—	—	資本財・サービス
XEROX CORP	—	386	408	48,933	情報技術
VISA INC-CLASS A SHARES	—	70	496	59,516	情報技術
LIBERTY INTERACTIVE CORP Q-A	—	183	505	60,606	一般消費財・サービス
NETGEAR INC	—	41	122	14,683	情報技術
TORCHMARK CORP	—	47	271	32,522	金融
BRINKER INTERNATIONAL INC	—	79	431	51,645	一般消費財・サービス
TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE	—	74	218	26,192	情報技術
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	600	77	449	53,908	金融
ASHLAND INC	—	114	1,219	146,129	素材
SKYWORKS SOLUTIONS INC	970	—	—	—	情報技術
AVERY DENNISON CORP	—	48	289	34,674	素材
FAIRCHILD SEMICONDUCTOR INTE	—	318	449	53,877	情報技術
AMGEN INC	—	25	384	46,103	ヘルスケア
CONSTELLATION BRANDS INC-A	100	—	—	—	生活必需品
EQUIFAX INC	—	81	796	95,462	資本財・サービス
GAP INC/THE	—	175	564	67,581	一般消費財・サービス
FEDEX CORP	—	181	2,705	324,205	資本財・サービス
CITRIX SYSTEMS INC	—	157	1,147	137,495	情報技術
HARTFORD FINANCIAL SVCS GRP	—	220	1,007	120,756	金融
ILLINOIS TOOL WORKS	—	8	68	8,201	資本財・サービス

ダイワ米国バイバック・マザーファンド

銘	柄	期 首		期 末		業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
CALPINE CORP	—	百株 191	百株 191	千アメリカ・ドル 304	千円 36,479	公益事業
INGREDION INC	—	—	75	671	80,492	生活必需品
CINTAS CORP	150	—	—	—	—	資本財・サービス
CLOROX COMPANY	150	—	—	—	—	生活必需品
CVS HEALTH CORP	725	39	39	395	47,355	生活必需品
BLACKROCK INC	145	—	—	—	—	金融
KANSAS CITY SOUTHERN	—	50	50	483	57,909	資本財・サービス
KOHL'S CORP	—	135	135	684	81,962	一般消費財・サービス
APACHE CORP	310	97	97	407	48,803	エネルギー
ALLSTATE CORP	1,630	73	73	430	51,597	金融
EXPRESS SCRIPTS HOLDING CO	—	587	587	4,970	595,591	ヘルスケア
YAHOO! INC	731	—	—	—	—	情報技術
ALLEGIANT TRAVEL CO	—	26	26	568	68,144	資本財・サービス
PROGRESSIVE CORP	—	280	280	877	105,144	金融
STARBUCKS CORP	340	130	130	744	89,222	一般消費財・サービス
INTUIT INC	—	28	28	240	28,775	情報技術
BED BATH & BEYOND INC	—	101	101	624	74,886	一般消費財・サービス
CBS CORP-CLASS B NON VOTING	420	—	—	—	—	一般消費財・サービス
VIACOM INC-CLASS B	330	289	289	1,308	156,726	一般消費財・サービス
VISTEON CORP	—	75	75	778	93,234	一般消費財・サービス
BIG LOTS INC	—	129	129	582	69,818	一般消費財・サービス
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	20,698 34銘柄	21,218 140銘柄	131,996	15,815,807 <97.6%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

銘	柄	期 首		期 末	
		□ 数	□ 数	評 価 額	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額
(アメリカ)		千□	千□	千アメリカ・ドル	千円
AMERICAN CAPITAL AGENCY CORP	—	—	50	972	116,494
合計	□ 数、金額 銘柄数<比率>	—	50 1銘柄	972	116,494 <0.7%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年9月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	15,815,807 千円	96.5 %
投資信託証券	116,494	0.7
コール・ローン等、その他	452,029	2.8
投資信託財産総額	16,384,332	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝119.82円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(16,192,273千円)の投資信託財産総額(16,384,332千円)に対する比率は、98.8%です。

■損益の状況

当期 自2015年3月19日 至2015年9月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	117,972,727円
受取配当金	117,954,585
受取利息	18,142
(B) 有価証券売買損益	△ 1,765,616,096
売買益	784,313,477
売買損	△ 2,549,929,573
(C) その他費用	△ 2,130,447
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 1,649,773,816
(E) 前期繰越損益金	5,382,324,292
(F) 解約差損益金	△ 1,477,842,353
(G) 追加信託差損益金	87,335,847
(H) 合計 (D + E + F + G)	2,342,043,970
次期繰越損益金 (H)	2,342,043,970

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年9月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	16,384,332,104円
コール・ローン等	287,809,077
株式 (評価額)	15,815,807,450
投資信託証券 (評価額)	116,494,995
未収入金	143,455,309
未収配当金	20,765,273
(B) 負債	185,462,829
未払金	146,062,829
未払解約金	39,400,000
(C) 純資産総額 (A - B)	16,198,869,275
元本	13,856,825,305
次期繰越損益金	2,342,043,970
(D) 受益権総口数	13,856,825,305口
1万口当り基準価額 (C / D)	11,690円

* 期首における元本額は19,209,618,799円、当期中における追加設定元本額は402,164,153円、同解約元本額は5,754,957,647円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ米国バイバック・ファンド (為替ヘッジあり) 2,579,474,527円、ダイワ米国バイバック・ファンド (為替ヘッジなし) 11,277,350,778円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は11,690円です。